

報道資料

平成 27 年 11 月 25 日

子育て支援企業の J P ホールディングス（証券コード 2749）

文化・教養・スポーツ 多様な社内クラブ活動を活発化

ES（従業員満足）をCS（顧客満足）につなげる

子育て支援事業最大手の株式会社 J P ホールディングス（荻田和宏代表取締役・東証 1 部）は、グループ全体で社内のクラブ活動の拡充・多様化を推進いたします。

当社としては、クラブ活動をルール化して、クラブ活動を活発化させたいという思いがあります。これまで当社には吹奏楽クラブがあるのみでした。

文化・教養・スポーツなど多様なクラブ活動が行われることを希望しています。「職員が楽しく働けること」が、当社の運営理念であり、社員間の親睦・交流を促進し、健康でフレッシュな状態を生み出したいというのが願いです。

新たなクラブをスタートさせるには、2 人以上の社員の申請（活動責任者・会計責任者）が要件。審査委員の許可を得ることで新しいクラブが発足できます。

***「一億総活躍」——子育て支援はいまでは国策の第一項目です。自分が働く保育園以外の社員たちと交流する場をつくって、これまで存在しなかった横のコミュニケーションツールを拓く。保育園で働く社員たちの視野や教養を広げて、フレッシュな状態をつくる。そうした「知見」「創造」を子育て支援の現場に還元していくことが求められます。

クラブ活動の活発化は、職場環境に「うるおい」をもたらすことを目指しています。社員の福利厚生充実への施策ともいえますが、ES（エンployee・サティスファクション＝従業員満足）が、CS（カスタマー・サティスファクション＝顧客満足）実現の前提にほかなりません。ES（従業員満足）の充実は、職場のストレスや緊張を緩和して一体感をつくり、保育園で働く社員たちの職場定着率を高める効果をもたらします。

ESは、社員たちのモチベーションに好影響を及ぼして、CS（顧客満足）を高めることにつながるということも、多様で活発なクラブ活動を応援する背景となっています。

報道各位からの問い合わせ先

（株） J P ホールディングス 東京支社

社長室 楚山・小倉

TEL 03-5332-7888

FAX 03-5332-7889